



# 指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

## 『風は秋色』

校長 おおこうち のりかず 大河内 範一



我が家の玄関に「ゲジゲジ」が出た。登校しようとしていた息子の絶叫で確知。私が駆け付けた時には下駄箱の隅の方に移動していたが、玄関に常備してあったゴキジェットを噴霧し、見事撃退に成功した。

なんと翌日には、玄関に「クモ」が出た。出勤しようとしていた妻の悲鳴で確知。こちらは我々の目を晦(くら)まして逃亡し、現在もどこかに潜伏していると思われる。とにかく、20年程前に新築で購入した「夢のマイホーム」が、今では「節足動物たちの棲み家」になってしまったかのようで、ちょっと悲しい。

理由はともあれ、この生き物の正式名称が知りたくなって調べることにした。我が家では以前から『ポケット版 学研の図鑑』を愛用している。B6サイズ程度で持ち運びに便利な大きさなので、出掛ける時にはいつも持参していた。特に1巻から4巻までの『昆虫』『植物』『動物』『水の生き物』のラインナップは、ボロボロになるくらい使い込んでいる。山や森に行けば蝶々や甲虫、高山植物などを調べ、海や川の水辺に行けば魚や貝、甲殻類などを調べ・・・といった具合に、しっかりと活用していた。我が家の「知的好奇心」は、この図鑑によって、いい感じに刺激され、自分たちの知識の修得に繋がっていったのである。ちなみに、今回の玄関先出没生物の名称は、市街地にも生息している「オオゲジの小型版」と「ジョロウグモのオス」だったのではないかと推測される。(やっぱりポケットサイズでの写真を見ても、ちょっと気持ちが悪いですね)

さて、現行の学習指導要領で重要なキーワードは「主体的・対話的で深い学び」である。学ぶことに興味や関心をもったり、粘り強く取り組んだりすることが大切で、「面白い!」「学びたい!」という気持ちが表出してくると、とてもよい。また、自分もっている知識を他の事象と関連付けたり、新しい問題点を見つけたりできるようになると、より深い理解に繋がってくる。私たちの日常生活の中にも、様々なヒントや手がかりが散りばめられているので、ぜひ発見してほしい。

朝夕は風が涼しくなり、季節はいよいよ秋めいてきた。「〇〇の秋」とよく言われるが、皆さんは、「読書の秋」や「勉強の秋」というワードを心に留め、秋の夜長を少しでも努力の時間に当ててみてはどうだろうか。自分の力を少しずつ高め、その努力の積み重ねにより、生涯学び続ける人になってくれたらと願う。

私は・・・、とりあえず秋の味覚を楽しみますね!